

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（横須賀土木事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

**B**

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。  
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。  
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。  
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。  
（Dが2つ以上の場合）

<p>&lt; 1 管理運営等の状況 &gt;</p> <p>葉山公園は、景観の保全や魅力向上を図る取組みが行われ、提案どおりの管理運営状況にある。はやま三ヶ岡山緑地は、都市林として良好な自然環境の維持・保全に取り組み、提案どおりの管理運営状況にある。</p> <p>(1) 葉山公園 維持管理に関しては、新たな海浜植物の植栽、クロマツの適正な病虫害対策を適正に実施するとともに、芝生の定着の促進を図るためにきめ細かい雑草除去を実施し、公園の魅力向上に取り組んだ。 利用促進に関しては、はやま三ヶ岡山緑地と連携したイベントの実施や公園を紹介するリーフレットの発行など、利用者の拡大に向けた取組みの充実がみられる。 地域連携の取組みに関しては、地域のボランティアによる花壇管理を継続的に実施した。</p> <p>(2) はやま三ヶ岡山緑地 維持管理に関しては、利用者に公園の魅力に触れてもらうため、山野草の開花合わせた除草やツツジの適正な剪定・下草除草を実施するとともに、利用者の安全を確保するため、日常的な樹木点検及び枯損木等の処理を行った。 利用促進に関しては、自然に触れ合える環境を活かしたイベントを実施し、来園者の増加を図った。</p> <p>&lt; 2 収支状況 &gt;</p> <p>下半期は、収支差額がマイナスになる年度計画であり、収支差額は7.1%のマイナスであった。</p> <p>&lt; 3 利用状況 &gt;</p> <p>(1) 葉山公園：砂浜に面した公園であり、年間を通じマリレジャー客が多いが、大型台風による荒天や大雪等の影響により、利用者が大幅に減少し、目標対比増減率で92.6%、前年同期対比増減率で91.3%となった。</p> <p>(2) はやま三ヶ岡山緑地：毎日来園する常連客や定期的に利用する団体客が定着し、利用者数が目標対比増減率で126.4%（通年127.0%）であったが、大型台風による荒天や大雪等の影響により、前年同期対比増減率は92.6%であった。</p> <p>&lt; 4 利用者の満足度 &gt;</p> <p>(1) 葉山公園：利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が100%と高い評価を得た。</p> <p>(2) はやま三ヶ岡山緑地：利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が100%と高い評価を得た。</p> <p>&lt; 5 苦情・要望等 &gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt; 6 事故・不祥事等 &gt;</p> <p>駐車場内で、利用者と車両との接触事故が発生したが、事故の状況確認や土木事務所への報告を行い、適切に対応した。</p> <p>&lt; 今後の方針等 &gt;</p> <p>(1) 葉山公園 今後は、海浜植物やクロマツを保護・育成する維持管理や地域との協働による公園管理等の取組みを継続するとともに、利用者層の拡大に向けた更なる取組みの充実が望まれる。</p> <p>(2) はやま三ヶ岡山緑地 今後は、植物育成のための適切な維持管理及び自然を活かしたイベントを継続するとともに、公園内や公園周辺の安全を確保する樹林管理の取組みの更なる充実が望まれる。</p>
---

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

・葉山公園

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	公園における特性と課題を踏まえた維持管理  (1)花と景観の名所としての管理継続やその海浜環境の保全と活用を図り、新たな魅力づくりを行う。 ・ハマナスを中心とした海浜植物の保護・育成 ・公園の魅力向上の一環として花木や草花等を植栽 ・クロマツ等の枯損木・マツノサイセンチュウ被害木の処理、枯枝・支障枝の除去 ・除草により特定外来植物等の除去を行う	(1)海浜部の斜面草地の自生種（ハマボッセ・ハマカンゾウ・ハマエンゾウ等）の保護や新たな海浜植物（イソギク・ハマナデシコ等）の植栽、クロマツの病虫害調査に基づく樹勢回復のための施肥や薬剤注入等を適正に実施し、公園の魅力向上に取り組んだ。 また、昨年度整備した芝生の定着を促進するため、雑草（外来種シマスズメノヒエ）の除去作業を手作業できめ細かく行っている。
2 (指定管理業務)	利用促進方策  (1)利用促進のためのイベント開催 潮風を受けながら景観を楽しむことのできる魅力を活かしたイベントの実施や海岸と公園を活用したイベントに協力し利用促進を図る。 ・スタンプラリー  (2)利用促進のための広報について 知らない人には公園の紹介等概要を、また再訪のきっかけとなる季節毎の見頃見所などを広報する ・パンフレット	(1)葉山公園とはやま三ヶ岡山緑地にチェックポイントを設定したスタンプラリー（約280名が参加）を10月から1ヶ月半に渡り実施し、利用者が両公園の魅力に触れることができる取組みを行った。  (2)公園を紹介するリーフレットを発行した。リーフレットには、葉山公園とはやま三ヶ岡山緑地を併せて掲載し、利用者の回遊を促す内容とした。リーフレットは、来園者への配布のみならず、行政施設や美術館等でも配布し利用者の増加を図る予定である。
3 (指定管理業務)	地域や関係機関との連携  (1)県民及び住民参加、ボランティア団体による協働の取組み ・県民ならびに団体と協働を展開させることで地域及び公園の利活用の活性化につなげる。	(1)11月に地域の婦人会による花壇への冬花の植付けが行われ、地域住民と協働した公園管理に取り組んだ。葉山公園では、地域住民による花壇管理が徐々に定着してきており、参加人数も増加している。

・はやま三ヶ岡山緑地

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	公園における特性と課題を踏まえた維持管理  (1)貴重な緑地と景観を踏まえた維持管理や多様な生物の育成環境を保全する。  (2)安全で快適な利用を提供するため確実な施設管理運営を行う。 ・園路、広場周辺の枯損木処理、枯枝・支障枝の除去を行う	(1)利用者に公園の魅力に触れてもらうため、山野草の開花状況に合わせた除草やツツジの開花を促進する適正な時期での剪定・下草除草を実施した。  (2)利用者の安全を確保するため、日常的に園路及び広場周辺の樹木点検を実施し、枯損木や支障枝の処理を実施するとともに、台風や大雪時には、迅速に倒木や折れ枝の処理を行った。
2 (指定管理業務)	利用促進方策  (1)利用促進のためのイベントの開催 常緑樹の森と豊かな林床植物、多様な生物に触れあえる環境と眺望を活かしたイベントを実施し利用促進を図る。 ・自然観察会 ・スタンプラリー ・巣箱をつくろう会	(1)自然に触れ合える環境を活かしたイベントとして、10月に山野草観察とバードウォッチング（14名参加）、3月に地域の幼稚園児を対象とした野鳥の巣箱設置観察会（23名参加）を実施し、公園の利用促進を図った。 また、葉山公園と連携したスタンプラリーを10月から1ヶ月半に渡り実施した。
3 (指定管理業務)	地域や関係機関との連携  (1)県民及び住民参加、ボランティア団体による協働の取組み ・地域や学校との連携を図る ・公園内の自然環境の保全と活用について、必要に応じ、(社)観音崎自然博物館の助言を仰ぐ	(1)10月及び3月に実施したイベントをとおり、観音崎自然博物館と連携した公園の活用や、公園と地域のつながりの強化を図った。

(2) 月例報告書による確認状況

・葉山公園

報告月	受理日	確認 通知日	確認方法			指 導 等 の 有 無	備考（指導事項等）
			月報 確認	現場 確認	電話 確認		
10月	11月8日	12月6日	○	○	○	無	
11月	12月10日	1月7日	○	○	○	無	
12月	1月10日	2月5日	○	○	○	無	
1月	2月10日	3月8日	○	○	○	無	
2月	3月10日	4月8日	○	○	○	無	
3月	4月10日	5月9日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限 翌月 の 10 日まで

・はやま三ヶ岡山緑地

報告月	受理日	確認 通知日	確認方法			指 導 等 の 有 無	備考（指導事項等）
			月報 確認	現場 確認	電話 確認		
10月	11月8日	12月6日	○	○	○	無	
11月	12月10日	1月7日	○	○	○	無	
12月	1月10日	2月5日	○	○	○	無	
1月	2月10日	3月8日	○	○	○	無	
2月	3月10日	4月8日	○	○	○	無	
3月	4月10日	5月9日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限 翌月 の 10 日まで

## 2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額	うち納付金	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計			
募集時の累積算額 (参考)		14,208	0	5,037	19,245	19,245	0	0
年度計画	前年度	14,000	0	13,292	27,292	27,292	0	0
	上半期	3,765	0	10,750	14,515	13,033	0	1,482
	下半期	10,235	0	2,542	12,777	14,259	0	▲ 1,482
	今年度	14,000	0	13,392	27,392	27,392	0	0
	上半期	3,765	0	10,750	14,515	12,573	0	1,942
	下半期	10,235	0	2,642	12,877	14,819	0	▲ 1,942
通年実績	上半期合計	3,765	0	9,349	13,114	11,360	0	1,754
	対収支計画比	0.0%		▲ 13.0%	① ▲ 9.7%	② ▲ 9.6%	③	14.0%
	10月	0	0	432	432	1,508	0	▲ 1,076
	11月	1,539	0	390	1,929	1,699	0	229
	12月	4,263	0	362	4,625	2,253	0	2,372
	1月	1,471	0	436	1,907	1,664	0	243
	2月	1,293	0	146	1,439	1,782	0	▲ 343
	3月	1,669	0	480	2,149	4,634	0	▲ 2,485
	下半期合計	10,235	0	2,248	12,483	13,542	0	▲ 1,059
	対収支計画比	0.0%		▲ 14.9%	① ▲ 3.1%	② ▲ 8.6%	③	▲ 7.1%
	通年合計	14,000	0	11,598	25,598	24,903	0	695
対収支計画比	0.0%		▲ 13.4%	① ▲ 6.5%	② ▲ 9.1%	③	2.5%	
参考	前年度 下半期実績合計	10,235	0	2,555	12,790	12,561	0	229
	対前年度 下半期実績比				▲ 2.4%	7.8%		

※その他収入の内容 駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

### 収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	下半期は、収支差額がマイナスになる年度計画であるため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	990	<葉山公園> 照明機器取替工(990千円)
下半期	2,709	<葉山公園> 遊具改修工(855千円) 枯損木伐採処分工(954千円) <はやま三ヶ岡山緑地> 危険木伐採工(900千円)
合計	3,699	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等  
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等  
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

### 3 利用状況

評価 C

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、  
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

#### ・葉山公園

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	9,930 人	11,650 人	85.2 %
11月	8,350 人	10,140 人	82.3 %
12月	6,580 人	7,240 人	90.9 %
1月	8,140 人	8,355 人	97.4 %
2月	5,450 人	6,220 人	87.6 %
3月	9,670 人	9,150 人	105.7 %
合計	48,120 人	52,755 人	91.2 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	48,120 人	52,755 人	52,000 人	① 92.6 %	② 91.3 %
上半期計	86,670 人	88,130 人	83,000 人	① 104.5 %	② 98.4 %
合計	134,790 人	140,885 人	135,000 人	① 99.9 %	② 95.7 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	半期ごと	その他の場合の期間
	過去数年間平均	その他の場合の基準

#### 利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	×	葉山公園は砂浜に面した公園であり、年間を通しマリレジャーを目的した利用者が多いが、下半期は10月の大型台風や11月の強風などによる荒天及び2月の2度の大雪等の影響で利用者が大幅に減少したため、目標利用者数を達成できなかった。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	×	マリレジャーに影響した10月の大型台風や11月の強風などの荒天及び2月の2度の大雪等により、利用者が昨年度に比べ減少した。

#### <参考>

##### 施設の最大利用可能人数

	駐車場						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	30						30
年間利用可能日数	365						
最大人数	10,950	0	0	0	0	0	10,950
半期	5,475	0	0	0	0	0	5,475

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

・はやま三ヶ岡山緑地

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	810 人	905 人	89.5 %
11月	865 人	920 人	94.0 %
12月	825 人	825 人	100.0 %
1月	900 人	825 人	109.1 %
2月	450 人	790 人	57.0 %
3月	950 人	920 人	103.3 %
合計	4,800 人	5,185 人	92.6 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	4,800 人	5,185 人	3,800 人	① 126.4 %	② 92.6 %
上半期計	5,355 人	5,375 人	4,200 人	① 127.5 %	② 99.7 %
合計	10,155 人	10,560 人	8,000 人	① 127.0 %	② 96.2 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	半期ごと	その他の場合の基準
	過去数年間平均	

利用状況に関する確認等

確認項目	〔参考〕 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	毎日来園する常連客や定期的に利用する団体客が定着していることに加え、地元幼稚園児の利用が増加しているためと考えられる。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	×	10月の大型台風による荒天や2月の2度の大雪等の影響で利用者が昨年度より減少した。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	なし						合計
定員(1日あたりの延べ人数)							0
年間利用可能日数							
最大人数	0	0	0	0	0	0	0
半期	0	0	0	0	0	0	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。



苦情・要望等への対応

・葉山公園

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

・はやま三ヶ岡山緑地

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 6 事故・不祥事等

評価 B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した(事故等が発生していない場合も含む)。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

### 発生状況及び対応状況

・葉山公園

=====  
該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
10月13日	・駐車場内において、休憩していた利用者と車両が接触した。	・原因は運転者の不注意によるもの。	・現場に急行し、怪我の状態や救急車要請の有無などの確認や土木事務所への報告を適切に行った。

・はやま三ヶ岡山緑地

=====  
該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

### 随時モニタリングの実施状況

・葉山公園

=====  
該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
(            )		
(            )		
(            )		

・はやま三ヶ岡山緑地

=====  
該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
(            )		
(            )		
(            )		